

平成 29 年 7 月 4 日

金融サービスプラットフォームコンソーシアムへの参加について (ブロックチェーン技術の活用)

筑邦銀行（頭取 佐藤 清一郎）は、株式会社岩手銀行、株式会社青森銀行、株式会社秋田銀行、株式会社山梨中央銀行、株式会社沖縄銀行、株式会社アイシーエスがブロックチェーン技術（※）を活用したサービスの実証実験を通じ、金融サービスプラットフォーム（※）の共同構築実現を目指し設立する「金融サービスプラットフォームコンソーシアム」へ参加することといたしましたのでお知らせいたします。

本コンソーシアムでは、将来的に当行および提携先が金融サービスを共同提供することによりコストダウンを目指し、お客さまが複数の金融機関や企業のデータを一括で管理可能となる最新技術の研究や知見の収集を通して、お客様の利便性向上を目指してまいります。

※ブロックチェーン技術 …分散型台帳技術の一種。従来に比べて低コストでシステム構築できる可能性がある技術として注目されている。

※サービスプラットフォーム…ソフトウェアが動作するための基盤。本件ではサービスを提供するシステム基盤を指し、金融機関や企業で構成されるネットワーク上にブロックチェーンを活用して構築する。

<金融サービスプラットフォームコンソーシアムの概要>

「金融サービスプラットフォーム」とは、金融機関や事業者が共同で金融関連サービスを提供するために、クラウド上に構築するサービス提供基盤システムを指します。

金融業務は、F i n T e c hをはじめとするさまざまな技術革新や、スマートフォンの普及による取引媒体の多様化などにより、大きな変革を迫られています。F i n T e c hを提供するさまざまな新興企業が登場して金融機関のサービスを代替する動きも出ており、金融機関にとって大きな環境変化である一方、同時に新たなビジネスモデルを構築するチャンスでもあります。

特にプラットフォームの基盤技術であるブロックチェーンについては、金融機関とお客さまとの取引態様を大きく変化させる可能性があり、課題を共有する金融機関が共同で取り組むことにより金融機関、お客さま双方により大きなメリットが期待されています。

設立メンバーは金融サービスプラットフォームの可能性を確信するとともに、その社会的、経済的基盤としての重要性を認識し、導入に向けた課題解決と導入後の運営を行う事業主体として「金融サービスプラットフォームコンソーシアム」を設立するものです。

1. 設立メンバー（6金融機関、1企業、以下五十音順）

- ・株式会社アイシーエス
- ・株式会社青森銀行
- ・株式会社秋田銀行
- ・株式会社岩手銀行
- ・株式会社沖縄銀行
- ・株式会社筑邦銀行
- ・株式会社山梨中央銀行

2. 設立目的

アイデアの集約	新たな金融ビジネスモデル構築に向けたアイデアを集約し、課題を共有して解決に取り組めます
顧客利便性向上への取り組み	集約したアイデアを新たなサービスとして共同提供することにより、お客さまにこれまでにない優れたサービスを提供することを目指します
情報共有	新たなビジネスモデル構築に向けた情報共有を図ります
調査研究	国内外の新たなビジネスモデルに関する事例研究を行います

3. 活動内容

- ・金融サービスプラットフォームに関する実証実験、開発
- ・サービス開発
- ・知財管理に関する協議、調整
- ・プラットフォーム運営に関する協議、調整全般
- ・技術研究
- ・リーガル対応研究

当行では、今後も重要な社会インフラである金融システムの安定稼働と高度なIT技術の活用により、付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。

以上

《本件に関するお問合せ》
総合企画部 IT 統括室 豊福・帆足
TEL 0942-32-5897